

HK Foreign Direct Investment

広深港高速鉄道がビジネスチャンスを拡大

中国の高速鉄道網の一部である全長142kmの広深港高速鉄道 Guangzhou-Shenzhen-Hong Kong Express Rail Link (以下、XRL)は、2018年第3四半期の開通を目指しています。深圳の福田駅や深圳北駅を経由し、香港の西九龍駅と広州南駅を結ぶ高速鉄道です。新たな都市間で鉄道が開通することにより、広州－香港間の移動時間が100分から約50分に短縮されます。

XRLのビジネスチャンス

全長26kmの香港区間はすべて地下を通り、時速200kmでの運行となる予定です。西九龍駅(以下、WKS)は市内中心部にあり香港MTRへの乗り継ぎに便利で、利用客は香港の街を楽に移動することができます。

XRLの開通で香港－本土の都市(特に粵港澳大湾区)間のアクセスが改善し、文化、教育、ビジネス上の交流が活発になります。また、金融・貿易・専門サービスなど各種分野での協力・展開が進み、ビジネスチャンスが拡大する見込みです。人々の絆も深まり、地域の輸送ハブとしての香港の役割はますます重要になります。

観光業も強化され、より多くの旅行者が旅の出発点または目的地に香港を選ぶようになるでしょう。

西九龍駅は世界トップクラスの総合芸術文化エリア「西九龍文化地区(WKCD)」に隣接しており、ここでもさらなるシナジーが生まれます。同地区における新たな文化施設(Xiqu Center、M+ Museum for Visual Culture、香港故宮文化博物館など)の開設が進むにつれて、世界クラスの文化・芸術公演や展覧会を目当てにXRLで香港を訪れる旅行者が増加します。さまざまなイベントが開催される魅力的な都市として、香港はさらに注目されることになるでしょう。

鉄道の運営・保守のみならず、WKSの小売業、ケータリング、駅管理、サービスなどの分野で雇用が直接創出されます。

XRL香港区間は、京広高速鉄道(広州、長沙、武漢、鄭州、北京を経由)や杭福深旅客専用線(汕頭、厦門、福州、杭州などの沿岸都市を経由)など、広大な中国の高速鉄道網に接続しています。この路線の開通により、香港から本土の主要都市への鉄道による移動時間が大幅に短縮される予定です。

本土の高速鉄道

中国本土では高速鉄道が急速に開発されています。2016年には全国の高速鉄道網が2万kmを超え、輸送能力は14.4億人以上にのびました。今後の目標は鉄道網を全長3万kmに延ばし、2020年までに主要都市の80%以上をカバーすることです。



国際イベント・スケジュール

9月7～8日 香港

Smart City. Connected City.

「技術がいかに都市変革を推進するか」をテーマとしたカンファレンスです。「Smart City Blueprint for Hong Kong (スマートシティとしての香港の青写真)」やスマートかつ強靱な計画立案を近隣諸国とともに実現する方法について、都市／地域レベルで検討します。

場所: Hong Kong Science Park

主催: HKSTP, APAC Innovation Summit

▶ apacinnosummit.hkstp.org/en/ais-smart-city/

9月11日 香港

Belt and Road Summit in HK

中国および「一帯一路」沿線国から 2,400 人以上の政府関係者、国際機関の幹部、企業トップらが集結し、この構想がもたらす新たなビジネスチャンスを探ります。

場所: Hong Kong Convention and Exhibition Centre

主催: 香港特別行政区政府、香港貿易發展局

▶ beltandroadsummit.hk/en/index.html



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局

9月12日 香港

Technology Sector Reception

インベスト香港と香港証券取引所が共同開催する交流イベント。ハイテク企業に技術交流・協力を推進するためのプラットフォームを提供します。

場所: 香港

主催: 香港投資推進局(インベスト香港)、Hong Kong Exchanges and Clearing Limited

9月15日 香港

”Logistics Robotics and Technologies for One Belt One Road” Summit

「一带一路」構想がもたらすチャンスの活用に向け、ロボティクスなどの技術がいかに重大なプラスの影響を物流業界にもたらすかをテーマとした年に一度のサミット。同サミットは企業の交流、コラボレーションの機会、技術展示のプラットフォームも提供します。

場所: Hong Kong Science Park

主催: Hong Kong R&D Centre for Logistics and Supply Chain Management Enabling Technologies

9月26日 香港

Tourism and Hospitality Networking Reception

接客サービス・旅行産業部門の企業による香港への貢献に対して、感謝を表すための交流レセプションです。

場所: 香港

主催: 香港投資推進局(インベスト香港)

9月29日 香港

The HKIB Annual Banking Conference 2017

「変化する世界、優先課題の見直し」が今回のテーマ。地政学的状況、経済政策、顧客の好みが変わるなか、優先課題の見直し、新たなビジネスモデルの採用、技術活用の展開を通じて、銀行業界の業務効率・収益性を向上する方法を模索します。

場所: Hong Kong Convention and Exhibition Centre

主催: The Hong Kong Institute of Bankers

▶ bankingconference.hkib.org/hkib2017/

10月19日 香港

CILT Award 2017

CILT Award 2017 - Service Excellence は現在エントリーを募集中です。香港の運送・物流業界の発展に貢献したサービスプロバイダーの優れた業績を評価・賞賛するアワードであり、表彰は2年に1度行われます。

場所: 香港

主催: The Chartered Institute of Logistics and Transport

▶ cilt.org.hk/webadmin/img/events/1425_2.pdf

■ **インベスト香港主催行事**

詳細については、www1.investhk.gov.hk/events をご覧ください。



注目の分野: 航空機リース

香港－航空機リースのグローバルハブ

昨今、香港政府は航空機リース会社に適用される法人税を 16.5%から 8.25%に引き下げ、リース収益の 20%のみを課税対象としました。

新たに導入された税制は、香港の航空機リース事業を推進し、航空サービスの成長・多様化に一層貢献することを目的としています。航空機リース業界で世界最低水準の税率を誇る新税制のもと、香港が航空機リースの世界的な主要ハブの一つとなることが期待されます。

航空機リース事業にとってアジア最適の地

国際的な金融センターである香港には、資金調達に有利で活況な株式市場があり、既に3社の航空機リース企業が香港証券取引所(「HKEx」)に上場しています。世界の銀行の上位100行のうち70行以上が香港に拠点を持ち、航空機ファイナンスを手がける金融機関が多数ある香港は、資産として航空機への投資を検討する機関投資家・プライベートエクイティ投資家にとって重要な金融ハブです。また、利息や配当金の支払いに源泉徴収税(WHT)は適用されません。

さらに、中国本土の航空業界の急速な発展により、国内・国際便に就航する航空機の需要が著しく高まっています。業界の予測によると、今後 20 年間に中国本土の航空会社が新規に必要とする航空機は約 7,000 機であり、価格にして合計 1 兆米ドル以上と推定されています。香港と中国本土との隣接性や、多くの本土企業と香港企業とのビジネス関係がすでに確立されていることも大きなメリットです。また、香港と中国本土間の WHT 率は 5%に引き下げられており、ほかの航空機リースのハブ都市の税率より有利な税率です。

新税制の主な特徴

- 政令により、2017年4月1日以降に支払い、受け取り、または発生した適格航空機リース事業者(以下、QL)および適格航空機リース管理会社(以下、QM)の適格所得に優遇税制を適用する
- QL および QM は法人であり、航空機オペレーターであってはならない。(個別の事業体条件)
- QL および QM の適格所得の税率は 8.25%
- 「20%×(リース総収入から支出及び経費を控除した額)」が QL のみなし課税所得となる
- 「オペレーティングリース」を想定
- 特別目的事業体(SPV)モデルのリース事業が前提
- QL および QM は、航空機リースに使用される SPV が香港の QM と実質的なつながりを持つかどうかを含め、「中央管理および統制」と「実質的活動」の要件を満たしていなければならない
- 航空機を法的に所有している必要はない

お問い合わせ先:

Priscilla Law

金融サービス部 部長

Tel: (852) 3107 1085

Email: plaw@investhk.gov.hk



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局

注目の分野:フィンテック

香港がフィンテックのグローバル拠点となりうる理由

香港は、世界で最も刺激的なフィンテック拠点の1つとして存在感を強めています。フィンテック企業に対するアジア太平洋(APAC)地域での投資は、今年初めて欧米の市場を上回りました。

中国のフィンテック市場は世界の他の市場を圧倒しています。消費者へのフィンテック浸透度はさらに顕著で、アーンスト・アンド・ヤング(EY)のFinTech Adoption Index 2017によると、中国のフィンテック利用率は世界トップレベルの69%を誇ります。香港は中国市場へのユニークなゲートウェイであり、中国にとっては欧米への架け橋となることで、世界で最も重要な「スーパーコネクター」の1つとなっています。

この局地的な成長の背景には、香港をフィンテックの拠点として世界的なレベルへと押し上げた5つの重要な要因があります

1. 活発でオープンな金融ハブ

グローバルな金融センターとしての香港の重要性は無視できません。香港は昨今、Z/YenグループのGlobal Financial Centres Indexでトップ5の都市の一つに選ばれました。中国の主要金融都市であり、世界の上位銀行100行のうち4分の3が拠点を持つ香港には、金融セクターにとって信頼できる、成熟し整備された法制度・規制があります。

銀行は、まだ黎明期にある香港のフィンテック業界との協力にも積極的に取り組んでいます。PwCの調査によると、フィンテック企業との提携を検討中の香港の金融機関は82%にのぼります。

2. 投資と教育

技術革新に対する官民投資の水準が非常に高いのも香港です。2016年、フィンテック企業に対するAPAC地域の投資は合計67億ポンドでした。地元で専門家を若いうちから育成する試みも進んでおり、香港政府当局は香港中文大学と香港理工大学におけるフィンテック学部の設立を検討しています。さらに現在、11の銀行が香港金融管理局(HKMA)のフィンテックキャリア促進計画(FCAS)を支援し、新たなフィンテック人材の育成に努めています。

3. 優秀な人材・起業家を引き寄せる魅力的な都市

香港には、スタートアップ文化を盛り上げ、最良のIT人材を引きつける、豊かでダイナミックなテックシーンがあります。1,926社のスタートアップ企業があり、5,618か所のワークステーションで5,229人のスタッフが活躍しています。今年のRISEカンファレンスでは、活発なテックシーンがこのような環境整備に大きな役割を果たしていることが示されました。Cyberportや香港サイエンスパークなど香港域内、香港と中国南部の深圳を結ぶ国境地域(落馬洲ループ)、そして華南地域にあるグレーターベイエリアから幅広く素晴らしいコラボレーションスペースや投資が期待できることは、世界のトップ人材がキャリア構築や起業の地として香港を選ぶ理由となっていくことでしょうか。

4. 進んだ規制環境

成熟し安定的な規制環境は、あらゆる業界、特に急速な変化・進化が進む都市にとって重要です。香港の規制当局には、フィンテック、さらにはRegTech(レグテック)のイノベーションを推進する部署が



含まれています。例えば昨今、香港金融管理局(HKMA)は、デロイトと香港のトップバンク5行からの支援による、ブロックチェーン技術を活用した貿易金融プラットフォームに関する発表を行いました。

また、証券先物委員会(SFC)は、マネーロンダリングやサイバー犯罪に対処しながら組織内の通常業務や効率を改善する技術について評価するための内部用RegTechプロジェクトに着手しました。これらの取り組みから、規制や慣行の現代化を目指す香港政府の強い意欲が感じられます。

5. 活発で充実したエコシステム

世界トップクラスの銀行、規制当局、ハイテク企業、インキュベーターが近くに存在し、相乗効果から生じるダイナミズムにより、活発で協力的なエコシステムが香港に確立されました。コラボレーション、新しいアイデア、イノベーションを日々促す活発なエコシステムです。

香港フィンテックウィーク

年に1度開催される Hong Kong Fintech Week (2017年10月23日～27日)は香港における活気に溢れたフィンテックのエコシステムを実感できる絶好の機会です。官民が支持するこのイベントには、多数の地元企業と国際企業が参加します。

今すぐ申し込む:

 hongkong-fintech.hk  fintech@investhk.gov.hk

 [@HongKongFinTech/](https://twitter.com/HongKongFinTech/) [#HKFintechWeek](https://twitter.com/HongKongFinTech/)



お問い合わせ先:

Charles d'Haussy

フィンテック部 部長

Tel: (852) 3107 1016

Email: cdhaussy@investhk.gov.hk



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局

特集:

Hong Kong Maritime Week 2017

11月19日～26日の期間、香港港湾海事委員会(Hong Kong Maritime and Port Board)、香港船主協会、香港海事博物館の共同開催により、Hong Kong Maritime Week (HKMW) 2017 が開催されます。8日間にわたるこのイベントでは、業界の概要、セミナーやカンファレンス、企業のイベント、海事をテーマとしたスポーツから交流イベントに至るまで、優れた海事サービスの地域拠点としての香港の役割を一層強化する広範なテーマを扱います。

現在、香港には800社以上の海運関連企業があり、船舶代理店・船舶管理、船舶の仲介、海上保険、船舶ファイナンス、海事法務・仲裁など幅広い海事サービスを提供しています。香港政府統計局が昨年実施した Quarterly Survey of Employment and Vacancies によると、2016年に香港で船舶代理店や船舶管理サービスに従事している企業は約280社、船舶仲介サービスを提供する企業は70社にのぼりました。また、保険業管理処によると、香港では88社の保険会社が海上保険を扱っています。さらに、国際船主責任相互保険組合(P&I Club)に加盟する13団体のうち12団体が香港に拠点をもち、ロンドンに次いで最大のプレゼンスを誇ります。

香港の船舶登記(HKSR)は合計登録総トン数で世界第4位です。2017年3月末現在、2,536隻(総トン数109.2百万トン)の船舶が登録されています。香港の登録船舶はパフォーマンスに優れ、2016年の拘留率は0.81%と世界トップです。

2016年4月、あらゆる面で高付加価値な海事サービスの開発戦略(人材開発、マーケティング・販促、産業開発など)の策定を目指し、香港特別行政区政府により香港港湾海事委員会が設立されました。

Maritime Week イベントのハイライト

5th Asia Marine Insurance Conference

11月20～21日

2日間にわたるこのカンファレンスは、船舶所有者、船舶管理者、引受人など海事業界のあらゆるステークホルダーが一堂に会する、交流・議論のための絶好の機会です。共通の脅威や問題について議論し、保険会社と海事業界の互惠関係を築く持続可能なソリューションを模索します。

Mare Forum Hong Kong

11月24日

世界的に有名なこのフォーラムでは、海運業界のリーダーがさまざまなトピックについて分析します。海運・コモディティ市場の「ルネサンス」、石油・ガス・ドライバルクの海上輸送、コンテナ及び沖の埋め立て開発、地政学的リスク、近い将来に起きるであろう産業・技術の「革命」による危機後の海運・造船への影響、規制、環境上の要請、船舶ファイナンスと投資、海運に影響する脅威とチャンス、今後のスマート投資の展望、世界の海運ハブと香港の未来などがテーマです。

お問い合わせ先:

Benjamin Wong

運輸・工業部 部長

Tel: (852) 3107 1088

Email: bwong@investhk.gov.hk



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局

インベスト香港顧客紹介

日本

マルモ森商店は明治10年(1877年)の創業以来、1世紀以上にわたり世界に誇る品質の日本茶を作り続けています。日本全国から最高品質の茶葉を選び抜き、伝統の技と最新の技術の双方を駆使して緑茶の製造を行っています。おいしい緑茶を求める顧客の要望に応えることを目指す、新しいお茶の形を創造する企業です。

静岡に本店を構え、2017年4月22日には第2号店として chagama Hong Kong をオープンしました。農林水産大臣賞を受賞したお茶など、貴重な茶葉をそろえた香港初の本格的な日本茶専門店です。抹茶をはじめとする日本茶をより楽しむための各種茶器も取り揃えています。

産業部門: 茶葉、茶器、スイーツ、輸出入
ochanet.com

Sansiao Gallery は1984年の創業以来、ポップアートを主に扱うアートギャラリーとして東京を拠点に展開しています。展示実績は33年にのぼり、国際的に有名なアーティスト及び新進気鋭の芸術家が手がけた現代アート作品を紹介し続けています。クリエイターの知名度を問わず、ユニークで希少な、独特のクオリティを持つ多彩なアート作品を揃えたギャラリーです。

同社はこの夏、**Sansiao Gallery HK** として新たな船出をしました。国際的な展示会や世界のアート市場に参入し、Sansiao Gallery 東京のテーマ性あふれる展示を受け継ぎながら、さらなる展開を目指します。

産業部門: アート
sansiao-gallery.com/en

